

平成17年12月27日に、環境施設用地検討委員会(加藤晴一委員長)から「環境施設用地に関する報告書」が管理者に提出されました(表紙写真)ので、その内容についてお知らせします。

検討経過

平成17年	9月28日	第1回環境施設用地検討委員会
	10月17日	視察調査 視察場所...塩谷広域環境衛生センター クリーンセンター大田原(大田原市) クリーンパーク茂原(宇都宮市)
	10月24日	第2回環境施設用地検討委員会 協議の結果、候補地となりうる地区、9地区について絞り込みを行うこととした。
	11月15日	現地調査 候補地となりうる地区(9地区)の現地調査を実施。
	11月28日	第3回環境施設用地検討委員会 評価項目を基に協議・検討した結果、7地区に絞り込んだ。
	12月13日	第4回環境施設用地検討委員会 検討結果については下記のとおり。

検討結果

・環境施設用地の検討について、「交通アクセスの利便性」・「施設の有効活用の可能性」・「既存施設との連携の可能性」・「教育上の活用」・「監視システム構築の可能性」の5つを絞り込みの重要項目として協議検討した結果、以下の7地区が候補地として報告されました。

○特に全体的に評価が高い	大谷(東・四斗蒔)地区 中阿久津・宝積寺地区
○交通アクセスの利便性で優位	大谷(天沼・中丸)地区 大谷・花岡(西上坪)地区
○施設の利活用の利便性で優位	石末(原・柳林)地区
○遊休農地の利用や既存施設との連携で優位	平田・太田・上柏崎地区
○丘陵地の地形を生かした新しい型の施設の可能性がある。	阿久津台地(中阿久津)地区

上記の候補地以外に住民合意のうえ候補地が提案された場合には、その候補地も含めて適地を選定する必要があるとの内容でした。